

富津埋立記念館

～ 今後の活用方針 ～

(案)



令和6年5月

富津市公民館運営審議会

目次

1	検討の背景と目的	1
(1)	検討の背景	1
(2)	検討の経緯等	1
2	富津埋立記念館の現状	2
(1)	概要と設置目的	2
(2)	施設概要	2
(3)	館内図	3
(4)	入館者数の推移	4
(5)	各部屋の稼働率	4
3	富津埋立記念館の課題	5
(1)	施設	5
(2)	展示・収蔵品	5
(3)	事業	5
(4)	その他	5
4	富津埋立記念館の活用指針	6
(1)	今後の役割	6
(2)	今後の活用方針	6
5	スケジュール	7
資料編		11
(1)	富津埋立記念館 写真（施設等）	12
(2)	富津埋立記念館 写真（展示等）	14
(3)	意見（アンケート）等まとめ	15

1 検討の背景と目的

(1) 検討の背景

富津埋立記念館は、平成5年の開館から30年以上が経過し、建物の老朽化などの様々な課題を抱えるなか、令和3年12月に教育委員会が策定した「公民館のあり方」において、富津埋立記念館は「当面維持する」ととされるとともに、「今後の活用について検討する」ととされた。

これを受け、令和4年度に公民館が富津市公民館運営審議会にて、その検討を行うこととする方針を示し、当該審議会にて検討を進めてきたものである。

(2) 検討の経緯等

回	日付	会議名等	議題
1	令和5年 1月26日	令和4年度 第3回 富津市公民館運営審議会	埋立記念館の活用方法について
2	令和5年 5月16日	令和5年度 第1回 富津市公民館運営審議会	埋立記念館について
3	令和5年 9月29日	令和5年度 第2回 富津市公民館運営審議会	富津埋立記念館の活用について（視察）
4	令和5年 11月16日	令和5年度 第5回 富津市教育委員会委員協議会	富津埋立記念館の活用について
5	令和5年 12月19日	浦安市郷土博物館視察 （富津市公民館運営審議会委員）	類似施設の視察
6	令和6年 3月26日	令和5年度 第4回 富津市公民館運営審議会	富津埋立記念館 今後の活用方針 （案）について
7	令和6年 5月28日	令和6年度 第1回 富津市公民館運営審議会	同上
8	令和6年 7月11日	令和6年度 第1回 富津市社会教育委員会議定例会議	富津埋立記念館 今後の活用方針について（報告）
9	令和6年 8月19日	令和6年度 第5回 富津市教育委員会定例会議	同上
10	令和6年 12月 日	令和6年度 第3回 富津市公民館運営審議会	同上

2 富津埋立記念館の現状

(1) 概要と設置目的

富津埋立記念館は、富津沖の埋立事業の完成に伴い、富津岬周辺の漁業関係の資料を保存・展示することを目的に建設された施設で、平成5年（1993）4月27日に開館した。

現在、記念館が建っている場所は、昭和53年（1978年）4月に埋立て工事が開始される前までは砂浜となっており、春から夏にかけては潮干狩り、冬には海苔の養殖が行われていた。埋立て工事は千葉県企業庁によって、昭和60年（1985）9月にほぼ完了、同年12月からは埋立地内に東京電力富津火力発電所が操業を開始した。また、埋立地に隣接する緩衝緑地の整備も昭和61年（1986）1月に着手され、翌年6月に「富津市民ふれあい公園」として開園した。

埋立てに先立って1402人が漁業権を放棄することとなり、それらの元漁業者から寄贈された資料を後世に伝えるため、埋立記念館に展示することとなった。

建物全体のイメージは、富津で昔から行われてきた「簀立て漁」をモチーフにして設計されている。簀立て漁とは浅瀬の海に竹などを立てて囲いを作り、魚を生け捕りにする漁法のこと、建物の平面形態にその形を取り入れている。また受付ホール上部のドームは、富津の砲台をイメージして造られたものである。現在、富津公園内に位置する元洲砲台跡は明治17年（1884）に完成したもので、近代以降、東京湾守護のシンボリックな存在となっている。

このような外観をもつ富津埋立記念館は、鉄筋コンクリート平屋建てで、建物面積727.3㎡（約220坪）、建設費用は約6億円であった。

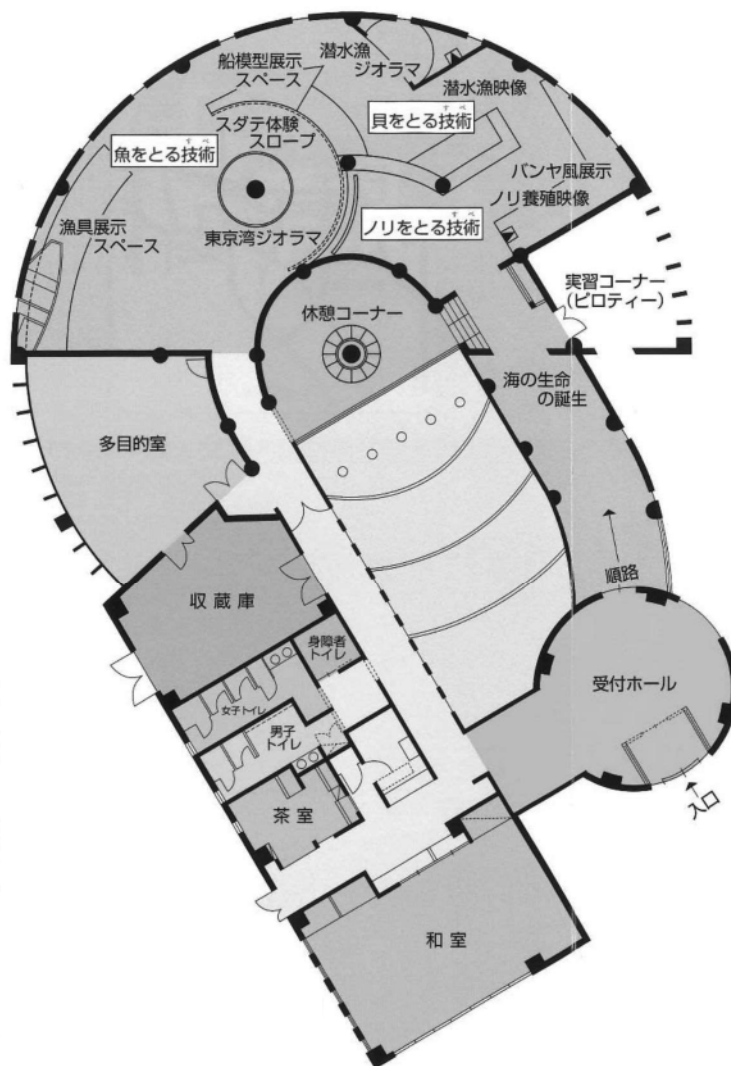
(2) 施設概要

所在地	千葉県富津市新井9 3 2 番地 3
総面積	4107.00 ㎡
開館年月日	平成 5 年 4 月 27 日
建設・取得額	575,530,000 円
構造	鉄筋コンクリート造
階数	1 階建
総延床面積	699.00 ㎡
駐車台数	12 台（うち障がい者用 1 台）

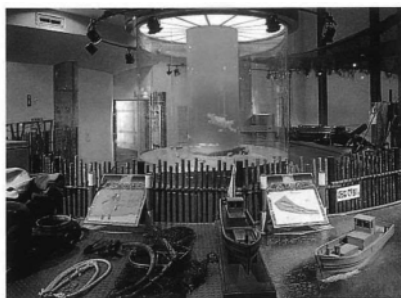
(3) 館内図

建物のイメージは、漁法のひとつである「簀立て」を形どっています。
「簀立て」とは、浅瀬の海に竹などを立て壁や囲いを作り、潮の干満と魚の習性をたくみに利用した漁法です。

施設の概要（単位：㎡）	
受付ホール	50.2
展示廊下	61.2
展示室	235.5
休憩コーナー	41.1
多目的室	57.1
収蔵庫	44.0
茶室	15.8
和室	70.0
便所等	36.0
湯沸室	6.9
その他	81.2
上記計	699.0
実習コーナー	32.1



▶入口 富津の海のスロープ



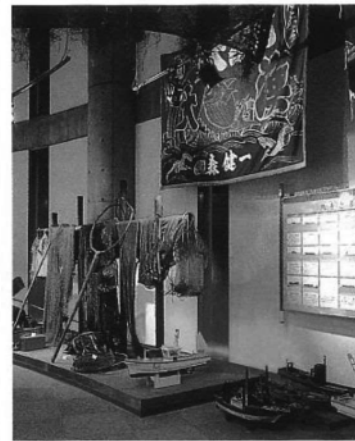
▶すだて体験スロープと東京湾ジオラマ



▶バンヤ風展示（ノリ関係漁具）

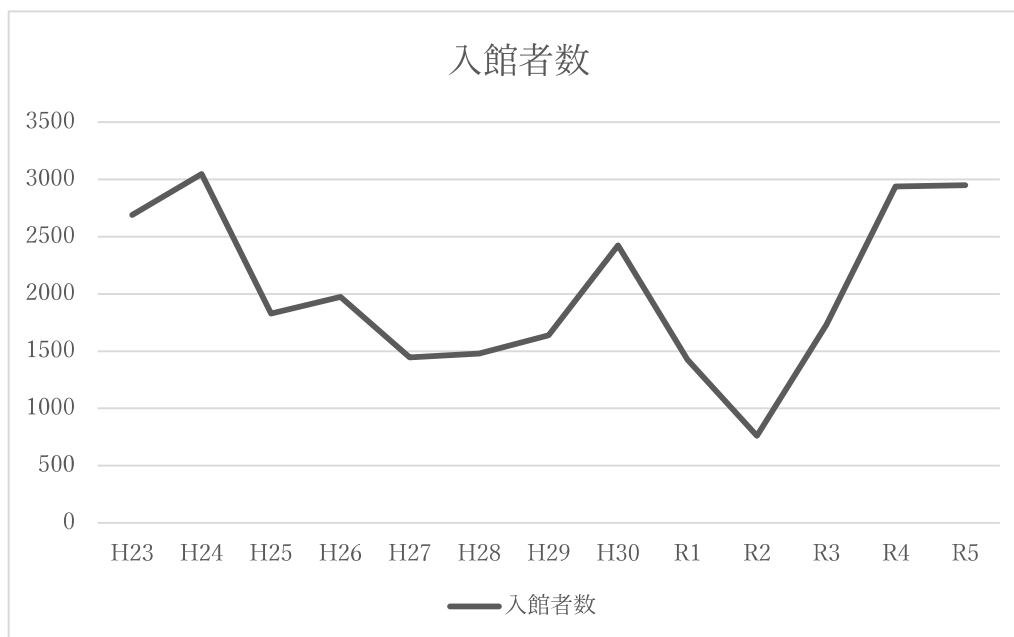


▶潜水漁ジオラマと船模型



▶漁具展示

(4) 入館者数の推移



入館者数

単位：人

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
2,689	3,047	1,829	1,974	1,445	1,479	1,637	2,425

R1	R2	R3	R4	R5	平均
1,426	761	1,732	2,937	2,951	2,026

(5) 各部屋の稼働率（利用時間÷（開館日数×開館時間））

単位：%

部屋名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	平均
展示室	5.1	9.4	5.4	3.3	2.9	2.4	6.0	5.3	7.5	5.3
多目的室	0.1	0.5	1.1	0.9	0.6	3.1	2.0	3.9	10.6	2.5
和室	2.8	3.1	2.9	3.0	2.9	0.2	1.5	4.6	4.8	2.9
茶室	2.8	2.8	3.8	2.4	2.9	0.2	1.4	0.9	1.4	2.1

3 富津埋立記念館の課題

富津埋立記念館の課題について、施設、展示・収蔵品、事業、その他の4つの項目に分けて、以下のとおり優先順位順に整理した。

(1) 施設

- ◆築30年以上が経過し、雨漏り・タイル破損・空調故障・多目的室のカーテン損傷・冷水器故障など、施設や設備の老朽化が進んでいる。
- ◆主要道路にある看板は大きいですが、その先にある富津埋立記念館入口の看板が見づらく、また、道路入口から建物までの道が狭い。
- ◆富津公民館と富津埋立記念館をひとつのエリアと考え、両館の間にある松の木や生垣を撤去も視野に整備し、オープンな雰囲気を作る。

(2) 展示・収蔵品

- ◆展示物は豊富にあり説明パネルもあるが、ゾーニングが不明瞭で、雑多な印象を受ける。一方で、名称のみのパネルも多く、用途や使用方法がわからないという面もある。
- ◆順路や関連性が難解で、テーマやストーリー性が感じられない。
- ◆屋外にある展示資料の経年劣化が著しく、整備が必要である。
- ◆収蔵庫を整理のうえ、漁具など展示品の新規収集を行うとともに、必要性の要否を選別する必要がある。
- ◆漁法などについて、過去のみならず、現代の技術や設備等の紹介を充実させ、その変遷や歴史を感じられるようにした方が良い。
- ◆映像資料・音声案内・音楽の復活や新規導入に併せて、パンフレットやコーナーに連動した解説書の刷新が必要。
- ◆子どもの目線にも合わせた展示の工夫や、解説関係の刷新・併設、クイズ形式などゲーム感覚で学べるコーナーの新設が必要。
- ◆休憩コーナーに隣接している、中庭スペースが活用されていない。

(3) 事業

- ◆学芸員などの歴史を伝える人材が不在で、その確保・育成が必要。
- ◆広報活動や情報発信が停滞しているため、その見直しが必要。
- ◆企画展などの魅力あるイベントが少なく、その創出が必要。
- ◆市内外の教育機関、博物館、図書館等との連携強化が必要。
- ◆小中学校の社会科教材として活用できるような事業推進が必要。

(4) その他

- ◆名称変更、民営化、費用確保の検討。

4 富津埋立記念館の活用指針

(1) 今後の役割

富津埋立記念館の将来あるべき姿については、埋立の歩みを永く後世に伝えるための記念施設であるとともに、漁業によって生まれた文化や技術の伝承の拠点施設であり、その担うべき役割を次の通り整理した。

富津市発展の シンボルとしての役割

- 漁業とともに発展してきた地域の歴史の伝承

埋立の記憶や記録の 集積地としての役割

- 埋立に関わる記憶や記録などの資料の収集、保存

歴史や技術、文化について 学べる施設としての役割

- 教育の拠点

歴史文化資源 としての役割

- 他の施設との連携
- 特徴的な形をした建造物

(2) 今後の活用方針

富津埋立記念館に掲げられた課題を解決し、その役割を未来に継承していくために、今後の活用方針について、次の通り整理した。

施設の長寿命化

- 施設・設備の充実
- 長期的な修繕計画の作成

新たな展示空間の創出

- ストーリー性の強化などの展示のリニューアル等

富津埋立記念館の価値創出 (活用方法の多様化・拡大)

- 人員・収蔵品の充実
- 企画・連携の充実

情報発信による 認知度の向上

- 看板の改修
- 貴重な展示品の情報発信

5 スケジュール

スケジュールについて、その目安を別紙のとおり整理した。

なお、予算という側面に着目すると、基金、公民館、教育部、市としての調整を要し、公民館のみに着目して考えた場合であっても、市民会館の維持補修、中央公民館の改築、富津公民館の長寿命化などの課題解決が優先されることも想定される。

分類			令和4年度												令和5年度														
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
大	中	小	公民館内方向性調査・検討												①														
検討	公民館運営審議会	案作成・視察等																											
	教育委員会協議会	視察																											
	社会教育委員会議定例会議	案調整																											
調整	教育委員会定例会議	案調整																											
	関係団体	各種調整																											
	躯体	長寿命化																											
施設	設備等	設備																											
		備品																											
	その他	看板																											
展示・ 収蔵品	展示等	生垣撤去																											
		リニューアル																											
	収蔵品	音楽導入																											
事業	人材確保	整理・収集																											
		説明員																											
	事務員																												
広報	ボランティア																												
	小中学校見学計画																												
	広報																												
その他	企画	連携強化																											
		名称変更																											
	民営化																												
費用確保																													

分類			令和6年度												令和7年度											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大	中	小																								
	公民館運営審議会	案作成・視察等		⑤							報告															
	教育委員会協議会	視察																								
	社会教育委員会定例会議	案調整																								
	教育委員会定例会議	案調整																								
調整	関係団体	各種調整																								
施設	躯体	長寿命化																								
	設備等	設備																								
		備品																								
	その他	看板																								
		生垣撤去																								
展示・ 収蔵品	展示等	リニューアル																								
		音楽導入																								
		整理・収集																								
		説明員																								
		事務員																								
事業	人材確保	ボランティア																								
		小中学校見学計画																								
		広報																								
		企画																								
		連携強化																								
その他	名称変更・民営化・ 費用確保	名称変更																								
		民営化																								
		費用確保																								

[illegible]

資料編

(1) 富津埋立記念館 写真 (施設等)



・ 主要道路入口 (看板)



・ 富津埋立記念館分岐点 (看板)



・ 道路 (車1台分)



・ 正面 (タイル)



・ 入口 (タイル)



・ 入口右手前 (タイル)



・ 入口左手前（オブジェ・タイル）



・ 入口右奥（実習コーナー）



・ 富津公民館からの景色（生垣）



・ 中庭（未使用）



・ 収蔵庫（空き無し）

(2) 富津埋立記念館 写真(展示等)



・受付ホール



・ノリをとる技術



・バンヤ風展示



・貝をとる技術



・潜水漁ジオラマ



・魚をとる技術

(3) 意見（アンケート）等まとめ

富津市公民館運営審議会（令和5年度 第4回） 今後の活用方針（案）修正事項・意見まとめ
・〔3-（3）〕 イベントの創出は、展示内容からも予算面からも困難である。小中学校の社会科教材として活用できるように、例えば「わがまちの歴史を知ろう！」等として工夫ある事業を推進する。 ・〔3-（4）〕 民営化の検討とあるが、利益があるはずもなく無理でしょう。であればボランティアの基地として活動拠点として提供しその見返りとして、簡単な管理説明員としての活動を期待したい。 ・〔4-（1）〕 貴重な観光資源…これは、観光資源には、なりえないのでは！また百歩ゆずっても観光資源としての役割を期待して建設した施設ではないのでは…。あくまでも「わがまちのルーツ」を後世に伝えることなのではないですか？本市、他市町の小中学生の教材としての価値は十分にあると思いますが…。 ・〔5〕 優先度は最下位であり、いかんともしがたい状況にあることが伝わってくる。したがってこの施設の「あるべき姿」をもっと慎重に協議すべきかもしれませんね。最終到着地点が不明、あるいは確かになっていないまま処方せんを出してみても、いずれゆきずまるに違いないですよ。何のために長寿命化か情報発信か価値創出か、リニューアルか？「人が訪ねるはずがない」、「この施設の建設目的は」、「目的にあった目標」、「目的達成のための具体策」。
・〔3-（4）〕 課題に共通する事項として施設・要員の維持・管理の為、費用の確保念拙の検討（市の予算＋α）。 ・〔4-（2）〕 今後の活用方針として「施設の活用方法の多様化・拡大」を追加。
・〔全般〕 富津埋立記念館は、富津沖の埋立事業によって、漁業権を放棄した漁業者から寄贈された資料を後世に伝えるため、建てられた施設である。資料を後世に伝えるための施設であるため、資料が固定化されている。リニューアルしづらい点がある。そのために、一回の見学で事足りるので、リピーターがいないのが現状である。そこで現有施設を活用するために次のことを提案します。 その時、その場でしか味わえない、盛り上がりを楽しみたいという欲求が生まれるような仕組み作り。 → そのためには、非再現性（※1）・参加性（※2）・貢献性（※3）の3要件がそろうことが必要となる。 → 3要件がそろうような演出としては、「イマーシブ（没入感）」をコンセプトとする。 → 改修・改修時に「イマーシブシアター（※4）」・「イマーシブオーディオ（※5）」を導入する。 ただ単に、展示替えをするだけでなく、これまでの、展示物を観てもらっただけではなく、非日常を体験してもらう。そこに見学者も参加する工夫が必要である。例として、潜水漁の場面で、3Dサラウンドとともにプロジェクションマッピングによって、臨場感のある映像と音で、観客に没入感を与え、そこに、例えば、観客のスマホのライトを点けることによって、足元のミル貝がうつし出されるように演出する。観客の貢献性もそこに生まれる。漁業従事者に対するリスペクトを持って、制作する必要がある。 ※1 非再現性は、時間や場所が限定されていて、同じ体験が二度とできないこと。

※2 参加性とは、不特定多数の人と体験や感動を分かち合うこと。 ※3 貢献性とは、盛り上がり貢献していることを実感すること。 ※4 イマーシブシアターとは、代表的なものとしては、体験型演劇作品がある。体験型演劇作品とは、ステージから離れて観劇するのではなく、観客も舞台の構成員として参加する。ステージと観客の境界がなく、観客は各自の観たい場所から観劇できるうえに、劇の登場人物として介入することもできる。最近では、お台場のビーナスフォート跡地に令和6年3月にできた「イマーシブ・フォート東京」がある。そこでは、観客も物語の鑑賞者ではなく、当事者として舞台に参加する没入体験プログラムである。その他に、謎解きやホラー鬼ごっこなどもその分野に入る。 ※5 イマーシブオーディオとは、全方向から聞こえるなど臨場感の高い状態で音を楽しめる機能を備えたコンテンツで、立体音響、3Dサラウンドなどがある。
富津市教育委員会委員協議会 意見書まとめ
・コーナーを明確にして、それに沿って展示する。 ・コーナー毎の解説したもの（パンフレット）があれば、説明員を置くこともなく、見学できる。小学生向けのものと大人向けのものがいいと思います。 ・故障している映像機器は、何かで隠したほうが良いと思いました。
1 ハード面について ・富津公民館と埋立記念館を1つのエリアと考えて、オープンな雰囲気を作ると良いと思う。※記念館の駐車場から建物をみると明るく雰囲気がよいので開かれた外観にしてはどうだろうか。 2 展示について ・展示のテーマやストーリー性が感じられない。 ・たくさんの展示物はあるが、そこにテーマやストーリー性があればよい。 ・類似の展示物をしている館が複数県内にあると思うので、そうした館の展示等、参考になるものを吸収したらよいと思う。（狭い中で考えず他館等の良いところを活かせるという） ・壁面という壁面にペタペタと貼られまるですき間を埋めるような掲示はやめた方がよいと思う ・映像や音楽 BGM が流れるようなことができるとかなり雰囲気がかわると思う。（予算もあるかの問題） ・学校教育に活かすなら対象となる小学3年が読める展示解説が必要で「読みたくなる」「あーそうか！」「へー」と発見したり納得したりする解説の工夫（文字の色や大きさ・絵・ふき出し・キャラクター等）がほしい。（現状ではとても内容理解につながる解説ではない（全て大人向き）大人も興味のない方は読む気になれないのではないかな） ・過去をめぐるたくさんの資料であるが変遷が混同している。 ・過去→現在→未来につながる⇒展示の工夫（先に揚げたテーマやストーリー性）が「要」だと思う。（幅広い時代を対象とする記念館の性格を考え、対象像をイメージして作ることが大切だと思う） ・名称を変えた方がいいと思う。（例 富津歴史会館とか）

・初めての見学でした。すばらしい会館です。
○率直な感想 ・磨けば光る！教育（社会科学習）、観光施設として魅力ある施設となる可能性 ○課題 ・所在を告知するツールが必要→公民館入口、記念館入口看板の視認性向上 ・記念館入口までの動線→公民館と記念館との一体化は可能か？両館の間の生垣撤去等 ・展示方法の見直し→テーマ・カテゴリー別ゾーニングの再検討 ・展示品の説明ツールの再作成 ・富津の歴史等の写真掲示場所（動線による物語性演出） ・展示品の見直し→必要なものと不要なものの選別 ・現代の技術、設備等の紹介 展示品の新規収集
・視察時には公民館長が説明をしながら案内をして頂いたので大変分かりやすく視察ができ、得る事が沢山ありました。 ・やはり説明員を配置、もしくは音声案内を導入した方が良いと思う。 ・何年か前の写真や展示物はあったが現在はどうのように変化したのか分かりやすくする為、比較のできる写真、展示物がもう少しあると良い。 ・小学生など小さな子供が楽しみながら学べるように、ゲーム感覚で学べる物、クイズ形式で学べるコーナーを一ヶ所でも設けた方が良いと思います。
浦安市郷土博物館視察 意見書まとめ
・大変参考になりました。特に博物館のコンセプトが素晴らしい。浦安を皆に知って欲しい。過去・現在・未来の道しるべとして、我が町がどうありどう変化する、そして現在がある、さらに未来に向けて、どう歩んでいくのかを、全市民に考えていただく空間でした。 ・富津の記念館のネーミングから考えてみる必要がある。富津市民全員の宝となるため、道標となるためのネーミング！！ ・昔、現在、海も里も山も、全市民の歴史を、そして未来を考えさせられる、考えなくなる施設としていきたい！
・埋立記念館がある事さえ知らない市民がいる→広報 ・茶室、和室を整備して貸し出しする。 ・埋立までの自然、歴史、民俗、交通等（海苔養殖や、漁業に関しての）オリジナリティーがあると良い。 ・現在の漁業海苔養殖の様子展示。 ・浦安には小規模だが水槽があり魚が泳いでいたが何か動く物・見て楽しめる展示があると良い（費用の問題があるが）。
・12月19日に行われた『浦安市郷土博物館視察』の際は、公民館館長様はじめ職員の皆様には大変お世話になり有難うございました。視察を終え、『富津市埋立記念館』について、私なりの考えをまとめましたので提出いたします。尚、頂いた用紙に書ききれないと判断し、この用紙にて提出させていただきます事をお許し下さい。（私が昨秋、宮古島海宝館を訪れた際の写真も展示の参考のために添えましたのでご覧ください。）
○富津市埋立記念館の特色を生かした展示方法を再考慮

- ・埋立記念館の建物は他市の郷土記念館や、郷土資料館に類を見ない建物であり、わが市の誇れる施設の一つとして老朽化対策を施し、大切に且つ永久に保存し、その特色を生かした展示方法を今一度考慮してほしく思います。
- ・これまでの委員による意見、発言、希望として改修、拡張、増築案も出されましたが、それについては今後、補正予算、企業、個人からの寄付（ふるさと納税を含む）を募る等熟慮していく必要があると思います。

1 視覚・聴覚・言語力（解説文）による導入力。

- ①埋立記念館設立の目的を記した解説文を印刷して既存のパンフレットと共に配布すると東京湾守護のシンボリック的存在であることを認識できてよいと思います。
- ②各コーナーに漁具名や解説文を添えてありますが、最低小学生にも読める分かりやすい説明文で（かなふりをする等）イラストやカラーのふち取りのある用紙を使うなど見た目の美しさの工夫が欲しいです。

2 コーナーごとに展示物の配置を考える

- ①海苔の養殖（海苔を取る技術）について。潜水漁具（貝をとる技術）について。
 - ・漁法（魚を取る技術）について。のコーナーでは子どもから大人までが見やすい高さでの展示、壁面を利用し視覚に訴える飾りつけを行う。吊るす、棚状に並べる、用途に応じた漁具の展示などの工夫や説明文の手直しをするのも良いと思います。（現在は雑然と並べられている物も多いように思います。）You Tube で見た富津の海苔の養殖の映像はその変遷の様子が良くわかり、貴重な映像を見ることができ大変勉強になり良かったです。潜水漁の映像もあるようなので是非みたいと思いました。記念館での放映では時間を設定して流されると良いと思います。他の映像ビデオの作成もあると良いと思います。
- ②体験コーナーでの作品作りと実習の提案。準備の都合上日にち限定とし予約制とする。（学校の授業の一環として行う場合は無料とする等規定を設ける。）
 - ・貝殻を使ってペン立て、写真立て、ネックレス、ペンダント、調理皿、根付などを作る。その他創意工夫した作品作りを楽しむ。
 - ・時季によっては海苔すきを体験する。（実習指導者、協力者が必要）
- ③故障中の機器、使用不可の備品、壊れた展示品については早急に直してほしく思います。もったいないと思いました。
- ④富津の漁業発展のために貢献した方々の業績について紹介して当時の漁法から現在に至るまでの変遷を伝える企画を考える。海苔の養殖に関しては近江屋甚兵衛・平野武治郎、潜水漁業に関しては斉藤徳蔵・大嵩定吉・大嵩幾造・大嵩弁三を年代別漁法別に紹介すると良いと思います。
- ⑤海堡に関する資料や写真が通路の壁面に展示されており、通行人の妨げになると思いうっくり見る事ができませんでした。他の場所への展示を考慮してほしく思います。
- ⑥貝殻で作った素晴らしい作品に関しても通路ではないほうが大切にされている感じがします。置かれている空間、状態、配置、照明によって感動を呼ぶことがあります。

3 広報活動の展開

- ①利用者数が低迷していることから『広報 ふつつ』にシリーズで埋立記念館の紹介記事を掲載し、広く市民の方々に関心を持っていただき富津の歴史文化の知識を高めてもらうことはいかがでしょうか。

②係員を常時記念館に配置することは無理？可能？無理であればコーナーコーナーに解説文を置き、読むことによって展示物の用途、役割、素材が分かるようにすると良いと思います。

- ・可能であればボランティアを募集する。係員の育成指導を行う活動の始動を考えて見るのはいかがでしょうか。

4 その他

・令和3年12月に「富津市公民館のあり方」の策定から始まり「埋め立て記念館は当面維持する。今後の活用について検討する。」ことになって2年が経過し、今年度ようやく他市の郷土記念館視察に至ったわけですが、視察した浦安郷土記念館の建物の立派さや浦安市の歴史を感じさせる数多くの壁面絵図、年表、展示品、市の凄まじい程の発展躍進の実態を分かりやすい展示方法、形式で示していたことは大変参考になりました。

- ・ビデオ放映もやはり興味、関心を高める良い企画だと思いました。
- ・学芸員の常時在中は直接説明を聞くばかりではなく質問することにより学芸員の人の人柄に触れる事ができ、親しみもわき、一層郷土愛が生まれるのではと感じました。
- ・見学だけでは得られない人と触れ合うことの大事さも感じられた視察でした。富津市埋立記念館存続に関しては多くの課題が山積している状況ですが、できることから一歩ずつ歩を進めていきたいものです。「へ～。」「ほう～。」「そうかァ～。そうなんだ～。」「また来たい。」等の声が聞かれる魅力ある記念館になる事を望んでおります。

富津市公民館運営審議会（令和5年度 第2回 富津埋立記念館視察） 意見書まとめ

- ・館内はきれいで良く整頓されていた。
- ・簡単な説明のできる案内人が必要。ボランティアを募集したら？
(埋立記念館の展示物のみの説明ができる様に講習会を開く。)

- ・道路からの入口が分かりにくい。
- ・道路入口から建物までの道が狭い。
- ・公民館入口横の船や巻上機はきたなくて入口オブジェに似合わない。
- ・展示物が雑多過ぎて名称のみで用途や使用方法が分からない。
- ・音声案内などできると良い。公民館職員が対応できた方が良い。管理スペースを使っては。
- ・茶室があるが畳のサイズが小さすぎて使いづらい。少し手直しができれば使えるようになると思う。借出しにもたえるものになると思う
- ・エアコンが全館エアコンの為、各部屋毎の個別にしたらいいと思う。こわれた場合にもリスク分散になる
- ・中庭がむだなスペースになっている。用途を再調査してはいいか。
- ・外観は良い物と思えるが動線が悪いため、なかなか見ることができない。
- ・公民館と道路入口のスペースを共用したらいいのでは？
- ・駐車場も増えるのではないかな？
- ・多目的ホールのカーテンなど基本的な設備は使える様にしてほしい。

- ・まずは、拝見致しました感想といたしましては、和室・茶室の活用について存在を知らない方も多いかと思います。アピールをもっとしては・・・と思いました。
- ・埋立記念館という事なので富津地区（埋立てられた地元）の漁業の展示なのだとは

思いますが・・・他の地域の漁業（たとえば、現在話題の黄金あじ etc）についても、何かしらの情報が有っても・・・と思ったりしました。 ・あと昔はとれた貝など、今はどうなっているか？とか なぜとれなくなったのか？も知りたいかも・・・。 ・潮干狩りのお客様とかにアピールするのも良いかも。
・ 記念館への導入（案内）表示が弱いのでは？ ・ せっかく入館しても案内が無いのは淋しい。 ・ 素人であっても頼まれたら、公民館の職員さんが説明役に応じたらどうか？
・ 本日は富津埋立記念館を見学させていただき富津沖の漁業に関する歴史について知る事ができ大変勉強になりました。現在、富津市内の小学生、希望があった他県、市町村からの見学が多いようですが、広報活動を広め見学者を募ると良いと思います。 ・ 他に気づいた点としては、漁業に携わった方から展示品を募集する。 ・ 展示されている漁具について説明をする方をボランティア募集する。 ・ 採取した貝（展示物とは別）を使って小作品を作って楽しむ学習を取り入れると見る、聞くだけではない体験学習になると思います。 ・ 埋立記念館についてのビデオを作り放映し、自由に観られるようにすると良い。 ・ 漁具がどの様に使われたのか説明を入れると学習効果が上がると思います。（館内で放映時間を設定し流す等）
・ 恥ずかしながら中に入って見学するのは初めてでした。市民の中にも沢山、私のような人が居ると思います。記念館があるのは知っていましたが・・・多く活用されない事は本当にもったいないと思いました。 ・ コロナが 5 類に移行した事で観光バス会社のツアーの 1 部に入れるよう要請したりそれには貝細工のお土産を置いたりしたらどうかなと思いました。それには常駐する人員が必要かと思いますが・・・子どもだけの対象ではもったいない、成り立ちから云って民営は無理なのかな。 ・ 館山の海の駅（海の博物館）のような感じで、そこも説明する人はいませんが・・・。
・ 年代物の施設であるはずなのに、きれいに整備されていました。 ・ この施設の目的・目標を明確にし、どのように整備していくのか整備していくべきかを検討されたい。 ・ 市内のボランティアをつのって、説明係を担当してもらう等の工夫もできるのかなと思います。 ・ エアコン等の設置も必要ですかね！ ・ 松の木は整備が必要かな！ ・ 修理中は修理する予定はありますか？
・ テレビ・トイレ等、故障中・調整中があり早急に直した方がよい。 ・ のりの養殖具の生産等よく展示されていると思う。 ・ 茶室や和室は使用されていない感がただよっている。
・ 入口の看板がややわかりにくいと感じます。松の木、草の管理等が必要な印象です。外のタイルがだいぶはがれています。 ・ 展示物は思っていた以上に数が多い印象ですが、説明書きがもう少し必要だと感じます。レイアウトを工夫して見せやすくしていただくと見学者も増えるのではないかな？

・ 小学校の授業の中にぜひ入れていけると思うが、説明員がいてくれるとありがたい。 ・ 当然ですが空調がしっかり改善されることも必要かと思います。 ・ いずれにしても歴史を知ってもらいたい！今後の展望として漁業を盛んにしていきたい！ ・ この記念館を維持していく目的はどこにあるのか？もう一度どこに向かうのかを確認してからお金をかけていく必要性を感じます。 ・ 集客することの目的は何か？再確認していく必要があるのではないかと感じます。 ・ 富津市の少ない財源を使っていくのでよく検討した方がよいと感じます。
・ 今日、始めて埋立記念館を見学しました。 ・ 立派な建物なのにもったいない。 ・ 冷水機が停止したまま。 ・ トイレは比較的、きれいだった。 ・ 全体的に古めかしい。 ・ のりや漁など、昔の技術は展示されていたが、現代の技術は展示されておらず、継承されていない。
富津市公民館運営審議会（令和５年度 第１回） 議事抜粋
・ 読み物が少ない ・ 展示の具体がない ・ 漁具などの掘り起こしや募集（展示スペースとの調整） ・ 展示にボリュームがない ・ 漁業転業者の寄付等という性質も考慮 ・ 富津公民館の裏ではなく、両方が表ととらえられる動線 ・ 貸館としての有効活用 ・ 入口が狭い、富津公民館と埋立記念館の間にある生垣の撤去
富津市公民館運営審議会（令和４年度 第３回） 議事抜粋
・ 小学校の見学計画での有効活用 ・ 牡蠣養殖の資料展示増設 ・ 公民館の講座での有効活用 ・ 海苔すき体験の定期実施 ・ 青少年相談員での有効活用 ・ 大きな看板の設置ないし増設など 【資料抜粋】《埋立記念館の課題》 ・ 富津沖の埋立を記念し、埋立及び海浜に栄えた漁業関係資料を展示しているが、利用者数が低迷している。 ・ 特定目的の記念館であるため、大規模な展示の変更は難しい。 ・ 専門的職員の不在。 ・ 施設の老朽化。
富津公民館主催講座 東京湾学講座（※）（令和４年度） 参考意見 ※富津岬を中心とした東京湾学の歴史・文化・自然などについて学習する講座

- ・埋立記念館としての機能だけでなく、古墳をはじめとした文化財展示施設とすることで来場者が増えると思います。
- ・富津は昔から漁業で栄えた地域です。漁業関係資料を展示することは大切なことだと思います。できれば残してほしいです。
- ・新しくできる図書館に埋立・文化財展示記念館のPRコーナーを設けたらどうでしょうか。(富津市の歴史の一部を知っていただくため。)・部屋の貸出をもっとPRしたらどうでしょうか(ホームページなど)。
- ・埋立地域の今後の計画がわかるような展示にしてほしい。

後 援 申 請 内 容

申 請 受 付 日	申 請 者	開 催 日	開 催 場 所	事 業 名	承 認 年 月 日
令和6年7月10日	千葉土建一般労働組合かずさ支部 執行委員長 河々谷 猛	令和6年7月28日	おどや富津店駐車場	千葉土建かずさ支部富津分会 第47回住宅デー	令和6年7月10日
令和6年7月17日	公益財団法人千葉県文化振興財団 理事長 清水 生也	令和7年1月25日	君津市民文化ホール (大ホール)	イーヴォ・ポゴレッチ ピア ノリサイタル	令和6年7月19日